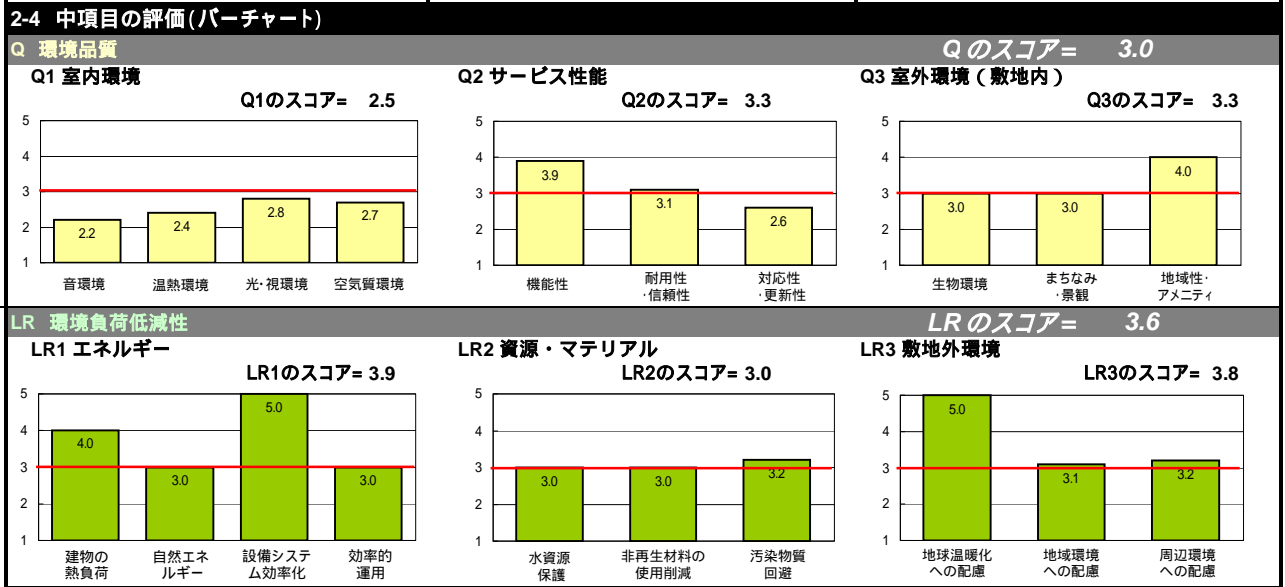
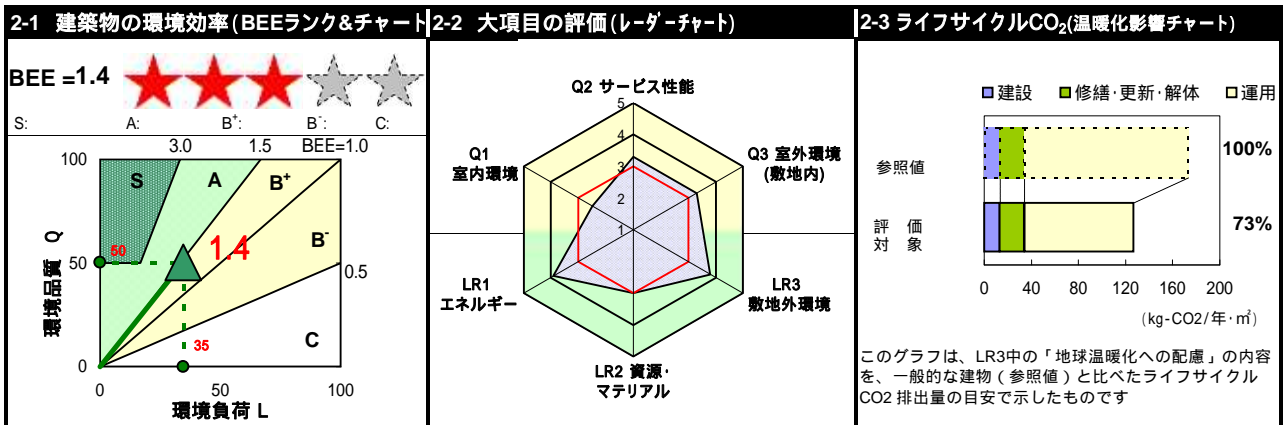


# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ケアプラザさがみはら	階数	地上4F
建設地	相模原市緑区大鳥字山中表295他	構造	RC造
用途地域	市街化調整地域	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2011年1月9日
敷地面積	9,431 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 奥野設計
建築面積	2,606 m <sup>2</sup>	確認日	2011年1月10日
延床面積	7,543 m <sup>2</sup>	確認者	



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明快なゾーニングとともに利用者にとってわかりやすい建築構成を心掛ける。</li> <li>・共用部において充実した空間を設けるとともに、利用者のプライベート空間を明確にする。</li> <li>・地域の活性化も視野に入れながら、建物の内外にアメニティ豊かな環境づくりを目指す。</li> </ul>	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
共同生活室等の面積を十分に確保し、通風、採光を考慮することによりゆとりある居住空間を形成している。	利用者居室の面積を十分確保し、スタッフ動線計画を明確にすることでスタッフサービスの向上に配慮している。	敷地内に、建物と一体化した緑地あふれる十分な広さの外部空間を確保し、屋外環境(敷地内)に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
オール電化を採用している。		隣地境界からの距離を極力確保することによって、日照、通風の配慮を行っている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい